

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年1月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200457
法人名	医療法人 誠井会
事業所名	グループホーム福寿荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬二丁目28番16-1 (電話)
自己評価作成日	平成28年10月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年11月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所では母体が病院であり、定期的な受診訪問を行っており、入居者様の緊急時には連携が常時図られている。
生活の関わりの中では、これまでの生活を重視し、季節に応じた行事を取り入れ、笑顔で穏やかな時間を過ごせる様な活動提供に努めています。
職員一同、地域密着をめざし理念に基づき入居者様の一人ひとりの個性を大事に大切に考え支援しています。また、入居者様の重度化へと進む中、多職種連携に努め、助言・指導により身体機能を維持しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○静かな住宅街に母体医療機関や同法人のグループホーム・小規模多機能ホーム・デイサービスセンター・サービス付き高齢者向け住宅等と近接したホームである。各種の行事や緊急時の対応など、相互に連携・協力して行う体制が整備され、また母体医療法人との連携は緊密で利用者や家族の安心につながっている。
○地域との交流は非常に活発で、法人主催の市民公開講座の開催のほか、地域感謝祭では、フリーマーケットや野菜の即売、お菓子のつかみ取り、焼き芋や豚汁等の振る舞い、抽選会などの企画で多くの地域住民の参加が得られている。また、地域行事には準備段階からの協力や防災訓練への参加も積極的で、職場体験学習やボランティアの受入れ、保育園児との交流など、地域と協働関係構築に努めている。
○日々のケアに際しては本人・家族の意向や希望を、コミュニケーションを取りやすい環境づくりに努めて丁寧に関心する工夫が感じられる。また、主治医や看護師も含む関係者からの多くの情報を基にして、職員全員で十分に話し合い、何よりも利用者の思いを大切にして、きめ細かなわかりやすい介護計画作成につながっている。ケアの経過については、職員の気づきや意見も収集して、様式を工夫した各種の記録に詳しく記載され、計画の見直し・修正に活かしている。
○管理者は良好なチームワークづくりを大切にして、日常的に声かけも頻繁に行い話しやすい雰囲気づくりや働きやすい環境づくりに努めている。把握できた職員の意見や提案を、職員の資格取得やスキルアップ、職場環境の改善等への反映に努め、利用者へのより良い、質の高いサービス実現に役立てている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は職員が目につくところに掲示してあり、朝の挨拶で唱和し、日常的に意識することで、意義や理解にとケア理念に努めている。	法人の介護部共通の理念及び運営方針に沿って年間目標も設定し、利用者が地域や家族と関わりながら個々の生活を楽しんで過ごせるよう支援に取り組んでいる。玄関やホール・職員トイレ等への掲示や名札に記載し、朝の挨拶時に唱和して理念の意義の理解を深めてケアへの反映に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事や祭り事の準備など可能な限り参加し、交流を行い近隣の公園、商店などへ入居者様と一緒に出かけ、職員・入居者様と共に地域の中で会話を交え交流に努めている。	自治会に加入しており、案内される夏祭りをはじめとした地域の行事の準備や運営に参加しており、法人合同で開催する地域感謝祭や市民公開講座、ホームの行事等にご家族や地域の方々に多数参加頂いている。また、日常的に散歩や買い物の際にも地域の方々と親しく挨拶や会話を交わし、ボランティアや中高生の職場体験学習の受入れも積極的に行い、利用者はこれらの交流を楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議にて民生委員、地区の役員、ご家族様等に認知症に対し、理解・支援を相談しながら協力関係を築く様努め、また、認知症サポーター講座を実施し、周知に尽力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会役員、民生委員、ご家族様、地域包括支援センター職員、市職員を構成とし、現況報告、活動報告を行うと共に、意見や助言を頂いており、早期の対応改善に努めている。また、趣向調査も実施し、入居者様の食事への助言もいただいております。	会議は利用者やご家族、地域住民、民生委員、行政や包括支援センターの職員の参加を得て、同法人のグループホーム・小規模ホームと合同で定期的に開催している。それぞれのホームの現況や行事・事故報告、また、問題点・課題等について活発な意見交換が行われ、委員からの助言や提案が地域との交流や日々のサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域密着型サービス事業者連合会、地域包括ケアライフサポート会議に参加し、指導を仰ぎ、より地域に開かれた運営が出来る様努めている。	市担当者や包括支援センターの職員には運営推進会議に出席して頂くとともに、市担当者とは訪問や電話で運営や利用者の状況についての相談等に丁寧に助言・対応して頂いている。また、サービス事業者連合会や地域包括ライフサポート会議等にも参加して意見や情報の交換を行いサービス向上に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会において、状況の確認を行なっています。入居者様の安全を重視し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	言葉による行動制限を始めとする身体拘束や高齢者虐待に関する勉強会の充実、また、身体拘束廃止委員会や日々のケアを通じて、不適切な言葉遣いや対応をしないように繰り返し確認している。職員は併設の小規模ホームとも連携して、利用者の見守りの強化に努め、安全を確保しながら利用者の自由な暮らしの支援に努めている。また、近隣の方々とも見守りや声かけして頂けるような関係が築かれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止委員会を通して定期的な研修を行い、カンファレンス時に勉強会を行なっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、必要とする入居者様がいないため、施設内研修や講習会などに参加し、学習の場を設けています。今後も研修を行っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用契約、改定等の際は十分な説明を行い、不明な点は繰り返し説明し、納得して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ホームの入り口に意見箱を設置しており、ご家族様が意見や要望を述べやすい関係作りに努め、また、意見・要望があった場合、全職員で討議し反映出来る様にしています。	利用者の思いや意見は日常の会話や見守りなどで把握に努め、ご家族とは主に訪問時に利用者の普段の生活状況をお伝えするなど、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。内容は申し送りノートや支援経過記録・ライフサポートプラン等で共有を図り、必要な対応を協議・実施して、ご家族には電話や訪問時の対話で速やかに報告して日々のサービスにも具体的に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	委員会、定例会、役職会議等で、意見を出しやすい雰囲気づくりに努め、得られた意見や提案を反映出来る様対応しています。	管理者は、職員からの意見を日々の申し送りやミーティング、毎月の業務改善の話し合い等で聞き取ると共に、必要に応じて個別面談や日常の対話など、声かけも頻繁に行いコミュニケーションを取りやすい環境づくりに努めている。得られた意見や提案は、職員の資格取得やスキルアップ、職場環境や利用者への日々のサービスの見直し・改善に役立てている	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	上司が職員の勤務状況、役職等考慮し、給与・昇給等を作成し、代表者と相談され待遇面を決定して下さり、職員の精神面・身体を気遣い、職員が日々向上心を持って業務に取り組めるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>カンファレンス・ミーティング、各委員会での意見交換や施設内外研修への参加を通じ、個々の能力向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス事業を通じ、ライフサポートワーク等の研修に参加し、ネットワーク作りができています。相互研修や研修会などの参加で質の向上を図るよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、ご本人・ご家族の意見を伺い、把握できる範囲で、これまでの人生を考慮し、入居者様の理解に努め信頼関係を築けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様のこれまでのご苦労や不安、悩み・要望などを話を聞き、事業所でどのように支援できるか討議して信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人ご家族の状況を把握し、その時に必要なサービス提供ができるように、他施設・医療機関などの情報を収集し、対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	コミュニケーションを取りながら、信頼関係を築ける様努めている。 傍に寄り添い、様々な活動で本人の人となり、一日の過ごし方を考えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の月便り、面会時にはホームでの生活状況、ご本人様の变化を細かく報告している。解決課題が生じた場合はご家族に連絡を取らせて頂き、ご協力を仰ぎながら問題解決に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所へ出かける支援はしづらいが、会話の中で昔の話、仲間や職場の同僚の話をするなど、人や場を忘れられないように努めている。	利用者のご家族や友人・知人などの来所時には、ゆったりと過ごせるように支援することをはじめ、電話や手紙の取り次ぎ、趣味の支援も行っている。利用者の思いや意向は、利用開始時の聞き取りのほか、ご家族との対話からも把握に努め、協力して地域の行事や墓参り・一時帰宅・買い物・美容院など、可能な限り支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格、気質、生活歴、相性などを把握し、良い関係が保てるよう努めています。テーブルにて過ごされる時は、その都度、気分・体調に合わせる方と過ごして頂く様配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用中にしっかりと信頼関係を築いていることで、退去後、相談などあれば協力し関係性を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前のアセスメントから、一人ひとりの暮らしや、生活スタイルを出来るだけ把握し、その人の暮らしを支えられるよう努めている。意思疎通が困難な方は、家族の意見を聞き、本人本位になるようなケアに努めている。	思いや希望を上手く表せる方が少ない中、職員は利用開始時の聞き取りや、日頃の表情や行動、対話、また家族からの情報を基に、思いや意向、生活習慣等を酌み取るよう努力している。職員は情報の共有を図り、ご家族の協力も仰ぎながら必要な対応を検討して利用者の思いに沿った対応となるよう支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約時に家族を交え、これまでどんな生活をされてこられたか生活歴などを聞き、情報収集し職員全員で共有し、ケアに役立てるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のケア状況を生活介護記録に時系列に記入し、また、申し送り帳にも特記、気づき等を記入することで現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は更新、体調不良時、その都度全スタッフと計画担当者で話し合い、計画作成し、担当者会議でご家族と話し合い、要望や意向を確認し反映しています。	担当者会議では本人・家族から希望や意向を聞き、主治医や看護師・職員等の関係者からの意見を反映した詳細な介護計画を作成している。ケアの経過や利用者の日々の様子・発言などは介護記録等で共有し、カンファレンスでは職員の気づきも報告してもらい、必要な変更内容を評価して変化する現状に即したケアを目指し、計画の見直し・修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子や結果、気づきを個別介護記録に記入している。申し送り帳等をも利用し、職員間で情報共有を密に行い、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の諸事情で、その時々生まれるニーズに対して、できない場合は当ホームが買い物代行等に必要に応じ購入している。併設事業所のPTにアドバイスを受け協力を得ながら、身体機能向上に努め、母体病院にない診療科へは必要に応じ支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議などを活用し、社会資源の現状把握に努めている。地域住民によりボランティアの訪問をして頂き、防災面では近隣の消防署の立ち合いのもと消防訓練を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に沿い、母体病院の受診は職員が同伴し、入居以前からのかかりつけ医を受診することもあり、それぞれの担当医と連携を行っている。	一人ひとりの利用前の受診状況を十分把握し、本人やご家族の希望を優先して、母体の医療機関を始めとしたかかりつけ医の受診を支援している。利用者の状況に応じて対応可能なように、看護師を中心に家族や医師との情報交換も密に行っている。母体医療機関及び院長宅が近接しているため、緊急時も適切な医療を受けられることが、利用者及び家族の安心につながっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護と介護がスムーズに行えるよう、看護職員と情報を密に取り、又、共有し個々の入居者が適切な受診や看護を受けられるよう努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時は十分な情報交換を行っている。入院中もお見舞いに行き、経過情報など情報交換も行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時、及び必要時に重度化についての指針の説明を行い、段階ごとにご家族様、ご本人様、主治医と常に連絡をとり、状況の変化を確認し支援している。</p>	<p>利用開始時に「看取りに関する指針」により重度化や終末期のケアについて説明を行っている。様々な変化の都度本人や家族と十分に話し合い、その意向を最大限大切にしている。医師との連携を密にして、緊急時には迅速に対応できるように体制を整えている。また、看護師を中心にマニュアルの活用で職員のスキルアップを図り、利用者や家族の希望に沿った支援に努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを基に連絡や対応が行える体制を整えている。急変時や事故発生時に対応出来る様定期的に勉強会や訓練等を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害時の対応マニュアルに沿った行いが出来るように、昼夜帯を想定し、定期的な防災訓練を行っている。運営推進会議などで、地域の方々の参加も呼びかけ、自主訓練避難訓練を実施している。	消防署との連携により避難・通報・消火訓練を、同一法人の小規模多機能ホームとともに実施している。また、自主訓練も実施し、地域主催の訓練にも参加するなど防災の意識は高い。関連する研修の充実やマニュアルの整備、災害時に備えたスプリンクラーや自動通報装置等の設置や点検、食料や飲料水等の準備も十分な状況である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員への定期的な接遇についての研修も行っており、又、その都度言葉かけについても注意し合い、入居者様のプライドやプライバシーを損なわないよう配慮している。	利用者の人格を尊重して、誇りやプライバシーを損ねないように、日々のケアに際して丁寧な声かけや対応を申し送りや勉強会で繰り返し確認して支援に取り組んでいる。また、日常生活での観察は細やかに行い、個人記録や居室の保護にも十分に気配りがなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様とのかかわりの中で、わかりやすい言葉かけ、又、自分自身で見て判断できるよう選択肢を設けています。表現が難しい方は、表情・行動の変化に気配りし、気持ちを汲み取るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の生活パターン、個性、その日の気分、その時々々の状況に応じて支援している。日常生活全般において入居者様のペースと気持ちを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問理美容で散髪の対応も行っている。毎朝の更衣時には整髪・髭剃り、本人様の好みを聞き、おしゃれを楽しむ支援も注力している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりに合った食事形態での配食を利用しており、季節に応じた献立となっている。入居者様にも準備や後片付けなど個々に応じた役割が担えるよう支援している。	入所時のヒヤリングや日常会話を通じて好みをくみ取る努力をして献立への反映に努め、調理は個々に合わせて食べやすいようにしている。利用者に食卓の準備や後片付けなど、時には手伝ってもらい、食事を楽しみながら行う雰囲気作りも工夫している。料理教室やおやつ作り、季節の行事食や誕生会時の外食、鍋料理や全国の郷土料理等の企画も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養状態の良くない方には食事コントロール、食事形態の変更を行っている。水分補給には特に気をつけ、水やお茶だけでなく、スポーツドリンク、水分補給ゼリーなども引用している。また、摂取量と排泄量も把握し考慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、夕食後には義歯を預かり、洗浄剤に浸け保清している。職員は口腔状態の把握に努め、歯科医の診察をも依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の訴えが難しい方は、定期的に声掛け・誘導を行い、声掛けは行うも、本人様が尿意の無い時もあり、本人のペースに合わせる様心掛けている。できるだけトイレでの排泄を行えるよう努めている。	排泄チェック表の活用や利用者の見守りで個々のパターンを把握し、本人の自尊心にも配慮しながら声かけや誘導も工夫して可能な限りトイレで排泄できるように支援している。また、利用者個々に合わせて生活習慣や身体機能に沿った対応になるよう職員が十分に話し合い、プランに組み込んでケアに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を促す為、水分補給、体操などを行なっている。又、排泄チェック表を設け、チェックを行い、内服によるコントロールをも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の体調に合わせて、入浴が楽しめるようにしている。体調により入浴が難しい時は清拭などに変更し、一人ひとりの状態に合わせた入浴を支援している。	利用者の健康状態や体調、皮膚の状態等の観察のほか、安全面には十分配慮しながら本人の好みや習慣に沿って足浴や清拭・シャワー浴を含めた支援を行っている。時にはゆず湯や菖蒲湯などの活用、入浴を拒否される方には言葉かけの工夫も行いながら個々に合わせてゆったりと入浴して頂いている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の習慣や心身の状態に合わせて就寝できており、日中も居室や、団らんスペースにて休憩が出来るようにしている。日中の活動等により、安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師により、処方内容を確認し、個別薬箱に配薬している。入居者様の処方薬が変更になった時は、職員全員に周知し、服薬の方法も一人ひとりに応じ変えている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	認知症の進行とともに、出来る事が少なくなっているが、その中でも「ほんの少しできる」ことを大切にし、趣味の時間、レクリエーションの時間を設けるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的な外出は困難であるが、外出願望が多い入居者様にはご家族の協力で個別に外出できるよう支援している。入居者様の体調に合わせ、施設外の周囲の散歩を行っている。	日々の暮らしを通じて利用者の希望をくみ取り、体調や安全面に十分配慮しながら、近隣の散歩や買い物・ドライブ・墓参り、また、菜園の手入れなど、可能な限り外出を楽しんで頂けるように支援している。また、時には地域の方々やご家族の協力も得ながら、季節の花見や紅葉見物、地域の行事、弁当持参の遠足などに出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金に関しては入居者様同士のトラブルが多く、ご家族了承のもと、ご家族様に管理して頂いている。又、買い物希望が出られた場合、施設立替金でお金を使えるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご希望があれば本人様から電話することができ、手紙も年賀状・暑中見舞いだけでなく、いつでも対応できるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地よく過ごせるよう工夫を行っており、季節に応じた飾りつけ、手作り作品、行事等の写真を飾っている。トイレや居室は必要に応じ消臭剤や、芳香剤など設置し、不快の無い環境を保っている。</p>	<p>リビングは室温や湿度、清潔感にも配慮がなされ、利用者が思い思いの場所で過ごせるようにテーブルやソファも配置されて、ゆったりとくつろげる環境づくりがなされている。季節を感じて頂けるように花飾りや手作りの作品、行事の際の写真等が飾られ、また、利用者にとって不快に感じる音や匂いなどもなく、落ち着いて過ごせるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロア内に団らんスペースを設け、ソファ、テーブル、テレビなど各所に設置し、入居者様が楽しく会話できるよう、少しでもホッとできる空間づくりを目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室スペースでは、ご本人様、ご家族様と相談し使い慣れたものや好みのものを配置し、居心地よく過ごせるよう工夫しています。	居室には自宅から持参した馴染みの小物や写真が飾られ、ご家族とも相談しながらその人らしく落ち着いて、穏やかな気持ちで過ごせるよう工夫されている。また、清潔には十分配慮がなされて明るく、ホームが準備したベッドやロッカー・エアコン等が配置されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりが安全な環境で過ごして頂くため、又、安心される環境へと目印、名前プレート表示し、自立した生活が送れる様工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		h	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない